

平成28年度行政評価 事務事業評価シート(平成27年度実績)

事務事業コード	020104050	予算コード	01054500	従事人員(人)	投入コスト(千円)	評価	評価点	一次評価	A
事務事業名	中学校介助事業	中学校教育課	正職員数	0.2	国庫支出金	0	有効性	A	介助が必要な児童生徒は年々増加している。様々なケースがあるためきめ細やかで充実した介助の為に拡大が望ましい。
担当課	市単独事業	嘱託職員数	0	府支出金	475	効率性			
根拠法令等	■要綱・要領 泉佐野市人権教育の基本方針	臨時職員数	0.03	市債	0	妥当性	B		
		歳出(千円)		その他	0	妥当性	B		
		人件費総額	1,728	一般財源	11,562	受益者負担	該当なし		
事務事業類型	運営事業	フルコスト(千円)		12,037	緊急性	C	事務事業実施内容		
実施手法	市直営	市民1人当たりコスト(円)		119	公的関与	A	介助員を配置する。		
対象		活動指標		H27実績	実施主体・委託化	A			
特定の市民	対象数	34	障害児介助員	10.0	他の事務事業との関連	A			
中学生の要介助者			外国人介助員	2.0	透明性	B			
事業の内容			成果指標	H27実績	財政健全化計画	該当なし			
中学校介助事業を以下のように実施している。 ①障害のある子どもに対する介助 ②介助については、身辺自立ができていない、安全確保が困難である教育的配慮の要する子どもに対しての措置である。 ③外国よりの転入生による受入のため通訳が必要となります。			要介助障害児	32.0	財政健全化の取組	該当なし			
			要外国人介助者	2.0	改革改善プラン達成度	該当なし			
			コスト指標	H27実績					
事業の目的			介助者一人当たり経費	354,029.4					
障害等で配慮の要する子どもへの身辺介助等をする。									